

2023年12月31日

「神の子として」

ガラテヤの信徒への手紙 3:26-4:7

早川 真牧師

神様がクリスマスに与えてくださったプレゼント、それは御子イエス・キリストです。そしてこのキリストの中に神様はあらゆる良いものを満たしてくださっています。このイエス・キリストというプレゼントを私たちが受け取るなら、私たちは全ての良いものを受け取ることができるというのが聖書のメッセージです。

しかしここで私たちが忘れてはいけないことは、そのためには犠牲があったということです。神であるのに人として生まれ、あらゆる迫害を受け、十字架の死によって私たちに恐れや不安から解放してくださいました。

今朝の箇所が使われている「神の子となさる」という言葉は、養子縁組という言葉です。私たちはキリストに結ばれて神の子となりますが、それはまるで養子縁組のようなことです。神の本当の子はイエス・キリストただお一人です。イエス・キリストはその子としての身分を分け与えるために地上に来てくださったゆえに、私たちは神の子としての身分が与えられました。

本来神の全ての相続はキリストに行くはずでした。しかしキリストは地上に降り、屠られることを通して神の子としての身分を私たちに分け与えてくださいました。それは私たちに愛し、私たちに子としたい、そしてご自分の財産の全てを相続させたいと願っておられる神の愛のゆえです。この神の愛によって私たちはその豊かさに喜び楽しむように招かれています。

この一年、キリストを通して与えられるこの神の恵みに支えられた感謝と共に、来る年も、更に豊かにこのキリストの恵みに与る一年となりますよう祈りを合わせたいと思います。